

令和4年度 決算

**銚子市の
わかりやすい
決算書**



～ はじめに ～

本市では、難しいと思われがちな決算について、見やすさとわかりやすさを念頭において作成した「銚子市のわかりやすい決算書」を発行しています。この“わかりやすい決算書”を通じ、市の財政に対して、皆様のご理解が深まるきっかけになれば幸いです。

目次

令和4年度一般会計の主な事業	1
決算の基礎知識	5
決算のあらまし	6
各会計の決算状況	7
一般会計の歳入歳出決算	8
財政構造の弾力性と健全化判断比率	11
借金残高	13
貯金残高	14
普通会計決算の近隣市との比較	15



決算額は1円単位で報告するものですが、本書では見やすさを優先するため“万円”単位で表示しています。

また、合計値を合わせるため端数の四捨五入の切り上げ、切り下げを調整している箇所があります。



まずは、令和4年度の一般会計※
の主な事業を紹介するっちょ！

※ “一般会計” の意味は5ページを見てちょ

銚子市公認キャラクター ちょーぴー

- 1 ゼロカーボンの推進
- 2 DXの推進
- 3 保健・医療・福祉の充実
- 4 教育・文化の振興
- 5 産業の振興
- 6 公共施設等の適正管理
- 7 生活環境の整備
- 8 原油価格・物価高騰対応支援



主な事業は、上の8つだっちょ！！



令和4年度一般会計の主な事業



(事業名)				
	所管	〇〇〇〇室	… 担当部署	
	事業費	〇〇〇万円	… 事業にかかったお金（決算額）	
	財源	補助	〇〇〇万円	… 国や県からの補助金、交付金、負担金など
		借金	〇〇〇万円	… 事業費に充てるため、市が国や銀行などから借りたお金
	市	〇〇〇万円	… 市税や使用料、基金などの市の自主財源	
〇〇〇〇〇〇〇〇			… 事業の説明	

1 ゼロカーボンの推進

ゼロカーボンシティ推進			
	所管	洋上風力推進室	
	事業費	999万円	
	財源	補助	999万円
		借金	
	市		
<p>2050年のゼロカーボンシティの実現に向け、地域特性を活かした風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入拡大や省エネの取組を推進するための施策を盛り込んだ「銚子市ゼロカーボンビジョン」を策定しました。</p>			

名洗港港湾整備			
	所管	産業振興室	
	事業費	7,079万円	
	財源	補助	
		借金	5,380万円
	市	1,699万円	
<p>洋上風力発電設備の建設補助や維持管理を行うための拠点港湾として活用が見込まれる名洗港の整備で、港湾管理者である千葉県が実施した防波堤の改良工事や設計委託などの経費の一部を負担しました。</p>			


2※ DXの推進

※ DX（デジタル・トランスフォーメーション）：ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること


情報発信再構築			
	所管	秘書広報課	
	事業費	1,178万円	
	財源	補助	11万円
		借金	
	市	1,167万円	
<p>市ホームページの全面リニューアルに要した経費で、パソコンやスマートフォンなど様々な機器から健常者も障害者も等しく情報を取得できるようにするなど、見やすくわかりやすい情報提供ができるようホームページを整備しました。</p>			

行政手続きのオンライン化			
	所管	情報政策室	
	事業費	2,297万円	
	財源	補助	1,148万円
		借金	
	市	1,149万円	
<p>マイナンバーカードを使用したオンライン手続きを可能とするためのシステム構築業務を委託した経費で、子育てや介護など27の手続きについて、オンライン申請ができるようになりました。</p>			


3 保健・医療・福祉の充実

ファミリー・サポート・センター				
	所管	子育て支援課		
	事業費	488万円		
	財源	補助	324万円	
		借金		
市	164万円			


子育て中の労働者や主婦などを会員として、子どもの送迎や一時的な預かりなどの援助を受けたい人と援助を行いたい人との相互援助活動に関する連絡と調整を行う「ファミリー・サポート・センター」を令和4年度に設置し、この業務を銚子市社会福祉協議会に委託しました。

介護施設整備等補助				
	所管	高齢者福祉課		
	事業費	1,402万円		
	財源	補助	1,400万円	
		借金		
市	2万円			

県の補助制度を活用し、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を開設する民間事業者に対して、開設準備費用の一部を補助しました。


出産・子育て応援交付金				
	所管	保健事業室		
	事業費	963万円		
	財源	補助	963万円	
		借金		
市				

妊娠届出時及び出生届出後の面談など、伴走型の支援とともに、経済的な支援として、妊婦と出生児に1人あたりそれぞれ5万を支給しました。


病院事業会計負担、補助及び出資 (指定管理者交付金)				
	所管	健康・地域医療推進室		
	事業費	3億4,000万円		
	財源	補助	6,241万円	
		借金		
市	2億7,759万円			

コロナ禍においても、公立病院として一定の役割が求められる銚子市立病院の安定的な運営を図り、医療の提供を確保するため、医療従事者に対する人件費補てん交付金を交付しました。

4 教育・文化の振興

(新) 銚子中学校整備				
	所管	教育総務室		
	事業費	2,816万円		
	財源	補助		
		借金	350万円	
市	2,466万円			


令和9年度の開校を目標に、第一中学校、第二中学校、第三中学校及び銚子中学校を統合し、現在の銚子中学校の位置に新統合校「銚子中学校」を整備します。令和4年度は、統合準備委員会を開催し、校章・校歌・制服を決定するなどしたほか、校舎建築や体育館改修の設計業務を委託しました。

GIGAスクール構想加速化 (高等学校分)				
	所管	市立銚子高等学校		
	事業費	2,535万円		
	財源	補助	1,117万円	
		借金		
市	1,418万円			


学習の基盤となる情報活用能力の育成を図るため、生徒個人が所有する情報端末を活用した方式によるICT環境の整備や、低所得世帯への貸出用端末機器の購入などを行いました。


5 産業の振興


漁業振興等促進			
	所管	水産課	
	事業費	3億2,706万円	
	財源	補助	
		借金	
市	3億2,706万円		
<p>銚子市沖洋上風力発電事業の発電事業者からの出えん金を積立てた「銚子市漁業振興基金」を活用し、銚子市漁業協同組合が実施する漁業振興事業に対して、補助金を交付しました。</p> <p>令和4年度は、この補助金を活用し、組合員が負担する漁船保険料や燃料代への助成や、外川支所魚市場建物補修工事、漁場実態調査が実施されました。</p>			


園芸用廃プラスチック処理対策			
	所管	農産課	
	事業費	642万円	
	財源	補助	214万円
		借金	
市	428万円		
<p>生産者が負担する園芸用廃プラスチックの処理経費の一部を補助したもので、処理コストの高騰に対応するため、令和4年度から、市の補助金をこれまでの1kgあたり10円から20円に増額し、生産者の負担軽減を図るとともに、廃プラスチックの適正処理を推進しました。</p>			

6 公共施設等の適正管理

庁舎耐震補強			
	所管	管財室	
	事業費	1億6,511万円	
	財源	補助	
		借金	1億6,510万円
市	1万円		
<p>市庁舎の倒壊防止策として有効性が確認されたSRF工法（包帯補強）による耐震補強工事を実施し、災害発生時の拠点施設として機能維持を図りました。</p>			


旧銚子市学校給食センター解体工事			
	所管	管財室	
	事業費	1億143万円	
	財源	補助	
		借金	7,970万円
市	2,173万円		
<p>旧学校給食センターの解体工事と解体の際の周辺家屋への影響を把握するための事前調査を実施しました。解体工事は、令和5年度に完了予定であり、解体後は、銚子児童相談所の建設予定地として、千葉県に用地を売却する予定です。</p>			

旧銚子市清掃センター解体工事			
	所管	生活環境課	
	事業費	2億2,135万円	
	財源	補助	7,415万円
		借金	1億3,560万円
市	1,160万円		
<p>広域ごみ処理施設整備に伴う旧清掃センターの解体撤去を行うもので、3か年の継続事業の2年目にあたる令和4年度は、施設の本格的な解体工事に着手しました。</p>			


体育館整備			
	所管	体育館	
	事業費	1億722万円	
	財源	補助	
		借金	1億390万円
市	332万円		
<p>施設の長寿命化と災害発生時の緊急避難所としての機能強化のため、これまでに実施してきた屋根やトイレの改修、空調設備の整備に加え、令和4年度は、外壁や建具などの改修工事を行いました。</p>			


7 生活環境の整備


市道改良整備				
	所管	土木室		
	事業費	1億68万円		
	財源	補助		
		借金	7,160万円	
市		2,908万円		
<p>市民要望などに基づき、道路改良や側溝改良などの整備を行うもので、緊急対応のほか、老朽化の状況などを考慮しながら道路環境の改善を進めました。</p>				

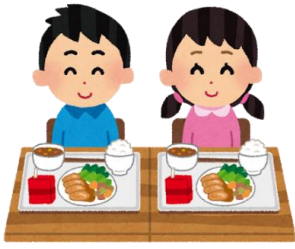
広域ごみ処理施設運営				
	所管	生活環境課		
	事業費	2億4,899万円		
	財源	補助		
		借金		
市		2億4,899万円		
<p>銚子市・旭市・匝瑳市で構成する東総地区広域市町村圏事務組合による広域ごみ処理施設の運営に対し、応分の負担をしました。</p>				

8 原油価格・物価高騰対応支援

電力・ガス・食料品等 価格高騰緊急支援給付金				
	所管	社会福祉室		
	事業費	3億6,910万円		
	財源	補助	3億6,910万円	
		借金		
市				
<p>電力・ガス・食料品などの物価が高騰する中、家計への影響が大きい低所得世帯に対して、1世帯あたり5万円の給付金を支給しました。</p>				

低所得の子育て世帯に対する 子育て世帯生活支援特別給付金				
	所管	子育て支援課		
	事業費	3,768万円		
	財源	補助	3,768万円	
		借金		
市				
<p>食料品などの物価高騰に直面する低所得の子育て世帯に対して、児童1人あたり5万円の給付金を支給しました。</p>				

物価高騰対策事業者支援				
	所管	産業振興室、水産課、農産課		
	事業費	1億9,778万円		
	財源	補助	1億9,778万円	
		借金		
市				
<p>原油価格や物価高騰の影響を受けている事業者（漁業者、農業者を含む）を支援するため、1事業者あたり5万円の支援金を支給しました。</p>				

学校給食センター管理				
	所管	学校給食センター		
	事業費	2億5,098万円		
	財源	補助	7,869万円	
		借金		
市		1億7,229万円		
<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するため、小・中学校の学校給食費の保護者負担を、令和4年10月から令和5年3月までの6月間、無償化しました。</p>				

決算の基礎知識



Q. そもそも「令和4年度決算」ってなあに？

A 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間の収入（歳入）と支出（歳出）の実績をまとめたものです。また、市の台所事情がわかるので、ある意味“家計簿”や“通信簿”とも言えます。

Q. 一般会計・特別会計・公営企業会計の違いは？



A 一般会計とは、市のメインのお財布のことです。行政の基本的な活動に必要な経費を計上しています。

一方、特別会計とは、特定の事業を行うためにやりくりするお財布で、一般会計とは分けて管理しています。

公営企業会計は、地方公営企業法が適用される公営企業の事業を行うためのお財布で、銚子市には水道事業、病院事業、下水道事業の3つがあります。



Q. 決算カードってなあに？

A 決算カードは、普通会計にもとづいた決算の状況を、市町村ごとに1枚のカードにまとめたものです。

また、普通会計は、総務省が決めた全国統一の共通ルールを適用した会計区分なので、決算カードを使って市町村同士の財政状況を比較したり、分析することができるようになっています。



決算のあらまし

一般会計の歳入は、前年度に比べ 5 億 7,416 万円減（2.1%減）の 264 億 8,246 万円となりました。地方税収の増加により、国が臨時財政対策債の発行を抑制したことに伴い、地方債が 8 億 8,262 万円減（39.9%減）、令和 3 年度に実施した子育て世帯への臨時特別給付金給付事業や非課税世帯等への臨時特別給付金給付事業が大幅に縮小したことに伴い、国庫支出金が 5 億 8,394 万円減（11.3%減）したことが主な要因です。

次に歳出ですが、前年度に比べ 4 億 6,019 万円減（1.8%減）の 253 億 6,135 万円となりました。これは、物価高騰による負担増の影響が大きい低所得世帯に対して実施した電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業が 3 億 6,910 万円増加した一方で、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業が前年度に比べ 5 億 5,213 万円減少したこと、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金給付事業が 4 億 5,919 万円減少したことが主な要因です。

令和 4 年度の歳入歳出差引額は 11 億 2,111 万円の黒字で、これから翌年度への繰越財源 1 億 330 万円を差し引いた実質収支額は 10 億 1,781 万円となりました。家計でいうところの貯金にあたる財政調整基金の決算年度末残高は 18 億 2,162 万円、市民 1 人あたり 32,314 円となりました。

近年頻発する大規模災害への対応やエネルギー価格・物価高騰による支出の急激な増加などに対し、迅速かつ確実に対応するためには、財政調整基金の残高を適正な額に維持していく必要があります。今後も、事務事業の見直しや市債の借入抑制による歳出の削減とともに、未収金対策や市有地の貸付・売却などの歳入確保を強化していきます。

特別会計と企業会計は、令和 3 年度に引き続きすべての会計で黒字となりました。引き続き健全な財政運営を図ってまいります。

各会計の決算状況

区分	一般会計
歳入総額 ①	264億8,246万円
歳出総額 ②	253億6,135万円
歳入歳出差引額 ①－② ③	11億2,111万円
翌年度への繰越財源 ※ ④	1億 330万円
実質収支額 ※ ③－④	10億1,781万円



区分	国民健康保険事業 特別会計	介護保険事業 特別会計	後期高齢者医療事業 特別会計
歳入総額 ①	76億 446万円	65億5,839万円	9億 386万円
歳出総額 ②	75億 265万円	64億1,882万円	9億 225万円
歳入歳出差引額 ①－② ③	1億 181万円	1億3,957万円	161万円
翌年度への繰越財源 ④	—	—	—
実質収支額 ③－④	1億 181万円	1億3,957万円	161万円

※ 「翌年度への繰越財源」とは、年度内に事業を終わらせることができず、翌年度（令和4年度）へ繰り越すこととなった事業に充てる財源のことで、事業と一緒にその財源も翌年度へ繰り越します。

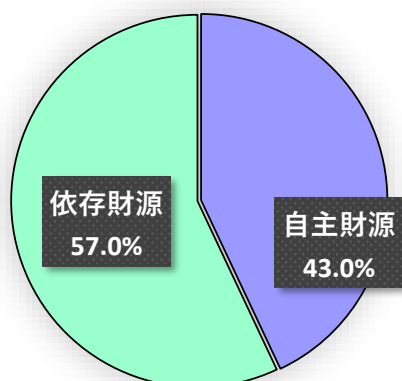
※ 「実質収支額」とは、その年度の歳入から、歳出と翌年度への繰越財源を差し引いたものです。この値がマイナスとなる状態を、一般的に『赤字』といいます。

一般会計の歳入歳出決算

歳入

項目	説明	決算額	
		令和4年度	令和3年度
自主財源	市が自主的に集めることができる収入です。	113億9,189万円	101億6,655万円
市税	皆さんが銚子市に納めた税金です。	79億3,830万円	78億4,054万円
分担金及び負担金	事業に必要な経費の一部を受けるサービスの程度に応じて、利用者が負担するお金です。	1億3,046万円	1億3,355万円
使用料及び手数料	施設を利用する時や住民票などを発行する時にかかるお金です。	4億6,786万円	4億6,468万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	6億3,610万円	2億7,331万円
その他	寄附金、土地や建物の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。	22億1,917万円	14億5,447万円
依存財源	国や県から交付される財源や市債（借金）のことです。	150億9,057万円	168億9,007万円
地方交付税	国に納められた税金の一部で、市の財政状況に応じて配分されるお金です。	57億2,702万円	57億3,761万円
国・県支出金	国や県に納められた税金の一部で、特定の事業を行うために市に配分されるお金です。	59億8,520万円	67億3,502万円
市債	学校や道路などの施設を整備するために、国や銀行から借り入れるお金です。	13億3,074万円	22億1,336万円
その他	地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金などです。	20億4,761万円	22億 408万円
計		264億8,246万円	270億5,662万円

令和4年度



自主財源が多いほど、自由に使えるお金が増えるので、自主的な事業ができるっちょ！！

経費を行政の目的ごとに
分類したっちょ！



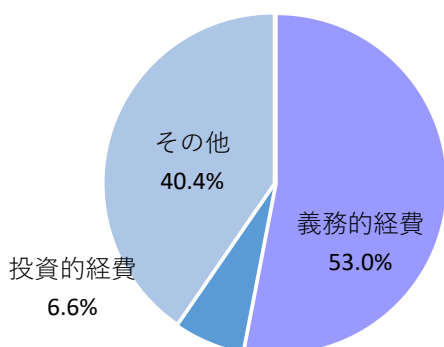
歳出決算状況（目的別）

項目	説明	決算額	
		令和4年度	令和3年度
議会費	議会運営のための経費です。	1億8,439万円	1億8,312万円
総務費	財産管理、統計、税の課税や徴収などの事務にかかる経費です。	38億 535万円	39億6,632万円
民生費	障害者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などの経費です。	86億1,769万円	92億7,143万円
衛生費	環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。	24億1,941万円	25億2,125万円
労働費	勤労者のための各種施設管理などにかかる経費です。	1,275万円	1,703万円
農林水産業費	農林水産業の振興、漁港整備などにかかる経費です。	13億2,371万円	6億6,254万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	5億9,725万円	5億1,038万円
土木費	道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費です。	15億4,919万円	13億 716万円
消防費	消防や火災予防などの災害対策のための経費です。	9億6,565万円	13億5,363万円
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費です。	27億5,777万円	30億3,341万円
災害復旧費	大雨、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。	—	—
公債費	市債の元金、利子や一時借入金の利子のことです。	31億2,819万円	29億9,527万円
計		253億6,135万円	258億2,154万円

歳出決算状況（性質別）

項目	説明	決算額	
		令和4年度	令和3年度
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	134億4,966万円	140億6,803万円
人件費	職員の給与や議員報酬などです。	53億4,319万円	54億3,649万円
扶助費	生活保護、障害者支援、医療費助成など福祉に使ったお金です。	49億7,828万円	56億3,627万円
公債費	市債（市の借金）の元金・利子の返済などに要する経費です。	31億2,819万円	29億9,527万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など施設の整備に要する経費です。	16億6,677万円	21億3,102万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	4億4,538万円	6億4,454万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	12億2,139万円	14億8,648万円
災害復旧事業費	地震、風水害などにより被災した施設の復旧経費です。	—	—
その他の経費		102億4,492万円	96億2,249万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	31億4,189万円	30億6,657万円
維持補修費	施設の維持補修に要する経費です。	1億3,758万円	1億2,750万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	28億5,242万円	22億7,883万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	8億9,664万円	11億3,613万円
投資及び出資金	病院事業会計などに対する出資金です。	3億7,915万円	1億8,869万円
貸付金	市が一時的に貸し出す経費です。	3億1,533万円	3億1,350万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	25億2,191万円	25億1,127万円
計		253億6,135万円	258億2,154万円

令和4年度決算



必ず支出しなければならない
“義務的経費”が約5割を
占めているっちょ！！



財政構造の弾力性と健全化判断比率

財政構造の弾力性を表す経常収支比率は**91.0%**です。

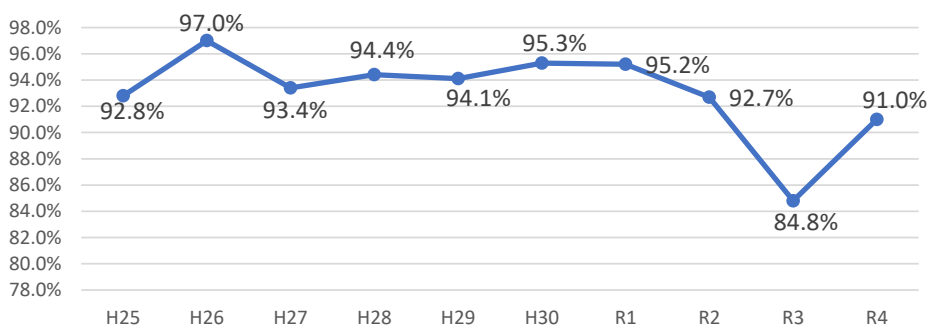


経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費などのように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源※が、一般財源総額のうち地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源に対し、どの程度の割合となっているかをみることにより、財政構造の弾力性を判断するもので、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。

※ その用途が特定されていない財源（地方税、地方交付税など）のこと。使い道が決まっている財源（国庫支出金、地方債など）は特定財源という。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源等（地方税+普通交付税等）+減収補てん債特例分+臨時財政対策債}} \times 100$$

経常収支比率の推移



令和4年度は、前年度の84.8%から91.0%に増加しました。

主な要因として、歳入では、地方税収の増加の影響により、国が臨時財政対策債の発行を抑制したことにより、本市の発行額は約7億円減少しました。一方で、物価高騰の影響による光熱水費の増加や令和2年度に借り入れた衛生センター基幹的設備改良事業の地方債の元金償還が始まったことによる公債費の増加などにより歳出が増加したことなどが挙げられます（経常的収入が増えたり、経常的支出が減ったりすると、経常収支比率は改善していきます。）。



Q. "健全化判断比率"ってなあに？

平成19年に交付された『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』により、自治体は毎年、財政の健全度を客観的に示すための健全化判断比率を発表しなければなりません。

詳細は次のページに記載されていますが、健全化判断比率には4つの指標が用いられており、一定の基準を超えたときには財政運営の健全化を図るための計画策定が必要となります。

健全化判断比率および資金不足比率



市の財政の健全度を判断する4つの指標だっちょ!

実質赤字比率

一般会計などの赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、財政運営の深刻度を示します。

連結実質赤字比率

全会計の赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、自治体全体の財政運営の深刻度を示します。

実質公債費比率

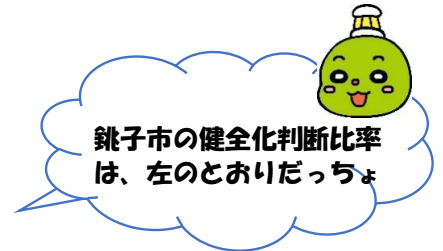
一般会計などが負担する借金の返済額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、資金繰りの危険度を示します。

将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき負債の額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合かを表す指標で、将来の財政負担の大きさを示します。

健全化判断比率の状況	令和4年度決算	令和3年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	12.79%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	17.79%	30.00%
実質公債費比率	12.2%	12.0%	25.00%	35.00%
将来負担比率	67.8%	92.8%	350.00%	基準なし

※早期健全化基準と財政再生基準は、令和4年度の数値です。



健全化判断比率の近隣市比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
実質赤字比率	令和4年度	—	—	—	—
	令和3年度	—	—	—	—
連結実質赤字比率	令和4年度	—	—	—	—
	令和3年度	—	—	—	—
実質公債費比率	令和4年度	12.2%	9.5%	6.8%	8.8%
	令和3年度	12.0%	8.9%	6.4%	8.5%
将来負担比率	令和4年度	67.8%	—	9.7%	18.7%
	令和3年度	92.8%	—	15.5%	19.1%

※令和4年度の指標数値は、決算カードの速報値となります。

近隣市と比較してみると、銚子市は健全化判断比率が非常に高いということがわかります。その要因としては、特に市の貯金(=基金)が少ないことが影響していると考えられます。

指標数値がさらに悪化すると…



健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも『早期健全化基準』を超えると、イエローカード状態(=財政健全化団体)となります。

財政健全化団体になると、議会の議決が必要な財政計画を定め、公表しなければならず、**市主導で事業を行うことが難しく**なります。



健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも『財政再生基準』を超えると、レッドカード状態(=財政再生団体)となります。

財政再生団体になると、議会の議決が必要な財政計画を定め、公表しなければならないのはもちろんのこと、**国(総務省)の関与のもとで財政運営を行うこととなり、市の主導で事業を行うことがほぼできなくなり**ます。

資金不足比率

各公営企業会計において、資金不足額がその事業規模に対してどの程度の割合となっているかを表す指標です。

資金不足比率の状況	令和4年度決算	令和3年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.00%
病院事業会計	—	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	—	20.00%

※経営健全化基準は、令和4年度の数値です。

借金残高

一般会計借金残高（市債現在高）

項目	令和4年度末	令和3年度末	項目	令和4年度末	令和3年度末
普通債	137億8,062万円	146億2,092万円	その他	111億6,602万円	119億8,681万円
総務	14億1,667万円	15億9,312万円	減税補てん債	5,468万円	8,572万円
民生	1億1,423万円	1億2,226万円	臨時税収補てん債	0万円	0万円
衛生	30億9,524万円	31億5,150万円	臨時財政対策債	109億7,542万円	117億2,384万円
農林水産	11億 108万円	10億9,548万円	減収補てん債	3,955万円	4,876万円
商工	3,923万円	4,640万円	退職手当債	9,637万円	1億2,849万円
土木	18億7,773万円	20億2,811万円	計	249億4,664万円	266億793万円
住宅	1億3,210万円	1億4,935万円	市民1人当たり	442,528円	462,032円
消防	19億9,173万円	21億4,368万円			
教育	40億1,261万円	42億9,102万円			
災害復旧債	0万円	20万円			
農林水産	0万円	0万円			
土木	0万円	20万円			
教育	0万円	0万円			
その他	0万円	0万円			

借金の残高は、前年度と比較して16.6億円程度減少しました。これは、臨時財政対策債などの償還が終了したことや令和4年度の市債発行額（約13.3億円）が償還額（約29.9億円）を下回ったためです。引き続き、計画的に借金の返済を進め、必要な事業をしっかりと見極め、新たな借金の抑制に努めていきます。

※市民1人当たりの金額は、令和5年1月1日現在の各市の人口から算出しています。

令和4年度末 普通会計借金残高（『令和4年度決算カード（速報値）』より）

近隣市との比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
借金年度末残高	令和4年度末	249億4,664万円	324億2,727万円	140億2,323万円	395億3,083万円
	市民1人当たり	442,528円	506,605円	408,388円	550,048円

学校や道路などの大きな施設の整備には一時的に何千万円、何億円といった多額のお金が必要になります。そのお金を1年間の予算でまかなってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。

また、学校や道路などの大きな施設は現在の市民だけでなく、将来30年から40年もの長い間、たくさんの方が利用する施設ですので、将来の市民の方にも平等に負担していただくことも、市債を活用する理由の一つです。

世代間の負担の公平を図るうえで市債発行の意義はもちろんありますが、前ページのとおり、近隣市と比較すると、健全化判断比率が非常に高い状況にあります。ただ市債を漫然と発行するのではなく、市債を発行する事業の選択と交付税措置のない市債の発行抑制に努めていきます。

貯金残高

貯金残高（基金現在高）

基金名	令和4年度末	令和3年度末
財政調整基金	18億2,162万円	12億 161万円
減債基金	2億7,265万円	2億7,264万円
災害対策基金	9,621万円	1億 250万円
一般廃棄物処理施設整備基金	1,645万円	1,645万円
豊里住宅団地公共施設整備等基金	4億1,149万円	3億6,379万円
ふれあい福祉基金	2,637万円	2,563万円
地域再生基金	1億4,632万円	1億3,895万円
がんばれ銚子ふるさと応援基金	1億8,059万円	1億6,587万円
公共施設整備等基金	1億 308万円	1億 101万円
一般廃棄物最終処分場設置地域振興基金	80万円	92万円
銚子電気鉄道応援基金	7,772万円	5,627万円
漁業振興基金	1億9,295万円	1,000万円
森林環境基金	2,168万円	1,457万円
しごと・ひと・まち創生推進基金	278万円	2,110万円
再生可能エネルギー活用推進基金	100万円	50万円
子ども未来基金（令和4年度新設）	65万円	
国民健康保険事業財政調整基金	4,050万円	0万円
介護保険事業財政調整基金	5億7,006万円	5億2,785万円
計	39億8,292万円	30億1,966万円
市民1人当たりの財政調整基金現在高	32,314円	20,865円

令和4年度末 財政調整基金残高（『令和4年度決算カード（速報値）』より）

近隣市との比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
財政調整基金の 現在高	令和4年度末	18億2,162万円	85億9,067万円	29億9,840万円	68億9,130万円
	市民1人当たり	32,314円	134,210円	87,320円	95,888円

※市民1人当たりの金額は、令和5年1月1日現在の各市の人口から算出しています。

基金とは市の貯金にあたるもので、予算不足に充てるための「財政調整基金」と使い道が決まっている「特定目的基金」に分けられます。上記の表は、その残高を表しています。

銚子市の財政調整基金は、近隣の市と比較するといかに少ないかわかると思います。今後は、財政調整基金の現在高を適正な額※に維持していく必要があります。

※銚子市の財政規模であれば、15億円程度の現在高があると望ましい。



普通会計決算の近隣市との比較



市民1人当たりの歳入決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
自主財源	200,206円	206,049円	159,800円	206,276円
市税	140,817円	122,693円	114,052円	126,520円
分担金及び負担金	1,963円	1,253円	3,020円	1,393円
使用料及び手数料	8,795円	5,275円	3,788円	3,311円
繰入金	11,284円	14,656円	8,629円	21,097円
その他	37,347円	62,172円	30,311円	53,955円
依存財源	269,566円	314,770円	312,241円	351,426円
地方交付税	101,591円	143,481円	151,478円	133,512円
国・県支出金	108,046円	100,811円	114,021円	123,061円
市債	23,606円	34,848円	9,685円	57,190円
その他	36,323円	35,630円	37,057円	37,663円
計	469,772円	520,819円	472,041円	557,702円

市民1人当たりの目的別歳出決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
議会費	3,269円	3,326円	4,876円	3,074円
総務費	62,750円	77,169円	56,182円	103,486円
民生費	153,745円	148,957円	168,326円	166,454円
衛生費	43,865円	82,825円	50,885円	47,146円
労働費	226円	46円	0円	160円
農林水産業費	23,489円	15,079円	20,845円	20,481円
商工費	10,595円	10,129円	9,427円	15,674円
土木費	28,784円	41,839円	20,890円	42,852円
消防費	17,130円	16,535円	19,641円	21,068円
教育費	50,541円	47,190円	39,152円	38,181円
災害復旧費	0円	0円	0円	204円
公債費	55,491円	55,428円	50,931円	56,558円
計	449,885円	498,523円	441,155円	515,338円



市民1人当たりの性質別歳出決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
義務的経費	238,583円	237,255円	236,802円	219,130円
人件費	94,783円	92,329円	85,785円	69,747円
扶助費	88,309円	89,498円	100,086円	92,825円
公債費	55,491円	55,428円	50,931円	56,558円
投資的経費	29,567円	45,491円	23,159円	69,012円
普通建設事業費（補助）	7,901円	14,459円	4,277円	52,951円
普通建設事業費（単独）	17,942円	30,254円	15,010円	14,679円
県営事業負担金	3,724円	778円	3,872円	1,178円
災害復旧事業費	0円	0円	0円	204円
その他の経費	181,735円	215,777円	181,194円	227,196円
物件費	55,734円	62,702円	54,862円	58,410円
維持補修費	2,441円	2,487円	5,878円	3,293円
補助費等	50,599円	89,048円	69,047円	88,538円
積立金	15,906円	16,070円	1,009円	23,255円
投資・出資金、貸付金	12,319円	9,044円	5,714円	10,952円
繰出金	44,736円	36,426円	44,684円	42,748円
計	449,885円	498,523円	441,155円	515,338円

本市は、他市と比較すると、人件費が多く、補助費等が少ないことが大きな特徴となっています。これは、市立高校を有し教育関係の職員数が多いことや、消防業務などを直営で行っているため一部事務組合に対する負担金が少ないことが要因といえます。なお、ごみ処理業務は、東総地区広域市町村圏事務組合が主体となり、令和3年度から広域ごみ処理施設（銚子市・旭市・匝瑳市）が稼働を始めたところです。

もうひとつの特徴として、公債費は、他市と比較して特に多いということではありませんが、前述のとおり、実質公債費比率は極端に高くなっています。これは、公債費の支出に対し、国からの支援（地方交付税）のない借金の償還が多いため、千葉科学大学建設費助成事業や市立銚子高校整備などが該当します。大規模事業の中には、償還が終了したものもありますが、令和7年頃までは、比較的高い水準で推移していく見込みです。



令和4年度決算
銚子市のわかりやすい決算書

- 発行年月日 令和5年9月
- 発行・編集 銚子市・財政課財政室
〒288-8601
銚子市若宮町1番地の1
電話 0479-24-8926
- 銚子市ホームページ

<https://www.city.choshi.chiba.jp/>

